



2007年12月4日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 クレハ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 岩 崎 隆 夫
コ ー ド 番 号 4 0 2 3 (東 証 ・ 大 証 第 一 部)
問 合 せ 先 広 報 部 長 古 谷 良 樹
(T E L 0 3 - 3 2 4 9 - 4 6 5 1)

ベトナムでの“業務用食品包装フィルム”製造・販売会社 設立について

株式会社クレハ（本社：東京都中央区、社長：岩崎 隆夫、以下“クレハ”という）は、ベトナム・ドンナイ省ビエンホア市に業務用食品包装フィルム（商品名“クレハロン”）の製造・販売会社「クレハ・ベトナム有限責任会社（Kureha Vietnam Co., Ltd.）」（以下“新会社”という）を、2008年1月に新たに設立することといたしました。

これに伴って、現在、クレハ子会社のクレハプラスチック株式会社が製造し、クレハが販売している業務用食品包装フィルム事業については、当該フィルムの製造ならびに東南アジア・インドにおける販売業務を2009年4月に新会社へ移管いたします（日本国内・韓国及びオセアニア向けの販売は引き続きクレハが行います）。製造業務の移管完了は2010年4月を目標とし、それまでの期間はクレハプラスチック株式会社及び新会社で製造いたします。

本設立により、業務用食品包装フィルム事業の収益基盤を確立するとともに、今後の成長が期待される東南アジア・インド・オセアニア地域での事業展開をさらに加速することといたします。

クレハの業務用食品包装フィルム事業は、主に水産・畜産・乳業メーカーを顧客として、食品保存に必要なバリア性能（酸素・水蒸気を通しにくいため食品の品質が保持できる）を持つ包装用フィルムを製造・販売をしております。

国内市場の成熟化と昨今の原油高を背景とした各種プラスチック原料の高騰などにより、競争力と収益力の確保が喫緊の課題となっております。一方、東南アジア・インド・オセアニアの各地域では、経済成長に伴う生活水準の向上により加工食品市場が拡大していることに加えて、先進諸国への食品供給基地としての役割が高まり、フィルム市場が拡大しております。

クレハは、各地域・各業界の顧客ニーズにマッチした製品を適切な価格で供給し、業務用食品包装フィルム事業の収益基盤を磐石なものとするべく、ベトナムに新会社を設立することに致しました。クレハは、既にオランダにフィルム製造会社（Krehalon Industrie B.V.）、欧州各エリアに販売会社を有しており、日本の営業・開発部門とこれら世界各地の製造・販売拠点との連携をはかりながらグローバルな最適供給・販売体制を構築し、バリア性能を持つ業務用食品包装フィルム市場の新たな創造と拡大により事業の発展を目指してまいります。

<新会社の概要>

- ・ 名称：クレハ・ベトナム有限責任会社（Kureha Vietnam Co.,Ltd.）
- ・ 所在地：Plot 227/13, Road 13, Amata I.P., Long Binh Ward, Bien Hoa City, Dong Nai Province, Vietnam
- ・ 設立：2008年1月
- ・ 稼働開始：2009年4月（予定）
- ・ 資本金：12億円（出資比率：(株)クレハ 90%、クレハプラスチック(株)10%）
- ・ 投資額：約20億円
- ・ 事業内容：業務用食品包装フィルムの製造・販売、包装機械のメンテナンス
- ・ 従業員数：約100名

<新会社での製造・販売品目>

- ・ 塩化ビニリデン・フィルム
（商品名“クレハロン・フィルム”）
用途：水産加工品、畜肉加工品、チーズ
- ・ 塩化ビニリデンまたは EVOH（注1）をバリア層とする多層フィルム
（商品名“クレハロン・ML”） 注1～EVOH：エチレン・ビニルアルコール共重合体樹脂
用途：生肉、畜肉加工品、チーズ
- ・ ナイロン系多層フィルム
（商品名“クレハロン・TS”）
用途：畜肉加工品



以上